

# 症例7

◆70代 女性 耳下腺

◆臨床情報: 数年前から右耳下部に腫脹を認めた。時々疼痛はあるようだが、腫脹以外の自覚症状は特になし。数年間で徐々に増大してきたことから、FNAが施行された。

◆画像所見: MRIで最大47mm大の多房性腫瘤を認めた。充実成分主体で、ごく一部に嚢胞変性様の部分を認めた。

◆標本作製方法: 直接塗沫

# 第1選択肢 推定鑑別診断

- ① 多形腺腫
- ② ワルチン腫瘍
- ③ オンコサイトーマ
- ④ 粘表皮癌
- ⑤ 腺房細胞癌

# 第2選択肢

## ミラノシステム診断区分

- ① 不適正
- ② 非腫瘍生
- ③ 意義不明な異型(AUS)
- ④ 良性腫瘍
- ⑤ 良悪性不明な腫瘍(SUMP)
- ⑥ 悪性疑い
- ⑦ 悪性

# 症例8

◆60代 男性 耳下腺

◆臨床情報: 10年ほど前より左耳前部腫瘍を自覚。精査目的で当院に紹介受診された。大きさの変化は僅かで、疼痛はなし。FNAが施行された。

◆画像所見: MRIで左耳下腺下極に最大30mm大の腫瘍性病変を認めた。腫瘍の頭側や尾側に充実部を認め、腫瘍の外側主体には嚢胞性病変を認めた。

◆標本作製方法: 直接塗沫

# 第1選択肢 推定鑑別診断

- ① 多形腺腫
- ② 粘表皮癌
- ③ 唾液腺導管癌
- ④ 腺様嚢胞癌
- ⑤ 轉移性腺癌

# 第2選択肢

## ミラノシステム診断区分

- ① 不適正
- ② 非腫瘍生
- ③ 意義不明な異型(AUS)
- ④ 良性腫瘍
- ⑤ 良悪性不明な腫瘍(SUMP)
- ⑥ 悪性疑い
- ⑦ 悪性

# 症例9

◆50代 男性 耳下腺

◆臨床情報: 10年前より右耳前部のしこりを自覚。前医で、多形腺腫と診断された。手術加療を勧められたことから、当院へ紹介受診された。当院MRIでは半年前の画像(前医)と比較すると、腫瘍が増大していたことから、早急に手術が必要となり、FNAが施行された。

◆画像所見: MRIで右耳下腺に30mm大の腫瘍を認めた。被膜及び、内部に不均一な造影効果を認めた。

◆標本作製方法: 直接塗沫

# 第1選択肢 推定鑑別診断

- ① 多形腺腫
- ② 筋上皮腫
- ③ 多形腺癌
- ④ 上皮筋上皮癌
- ⑤ 唾液腺導管癌

# 第2選択肢

## ミラノシステム診断区分

- ① 不適正
- ② 非腫瘍生
- ③ 意義不明な異型(AUS)
- ④ 良性腫瘍
- ⑤ 良悪性不明な腫瘍(SUMP)
- ⑥ 悪性疑い
- ⑦ 悪性